

Information

2017 年度 木村看護教育振興財団 助成事業応募者募集要綱

●看護研究助成

助成対象▶下記研究分野における看護の質的発展・充実に期待できる先駆的研究で、療養環境に関わる研究など、臨床の役に立つ未発表のもの

対象分野▶基礎看護、成人看護、老年看護、小児看護、母性看護、精神看護、地域看護、在宅看護、看護管理、看護教育、その他

応募資格▶日本在住の看護職者で、臨床・地域看護に従事している個人、または前者を共同研究者に含むグループであること

※名前だけの看護職者の共同研究者は不可
応募要件▶教員・大学院生をのみの申込は対象外、倫理的に許される研究であること、関係所属長の許可・推薦があること、研究の成果は関係学会へ発表すること

助成金額▶1件につき100万円を限度とする

●専門看護師（CNS）奨学金助成

支給対象者▶看護系大学大学院修士課程専門看護師教育課程2年コースの2年次進級予定者で、下記①および②を満たしている者

①日本看護系大学協議会により専門看護師教育課程の認定を受けた大学院の当該課程に在籍している者

②臨床あるいは地域看護の分野で専門看護師認定を受けられる実務経験を満たせる者

支給条件▶看護系大学大学院専門看護師教育課程に在籍し、修学中の者で同課程修了後、専門看護師として必ず資格認定を受け、認定された看護専門分野の臨床に2年以上就業することを確約できる者。ただし、支給条件に反した場合には、奨学金の返還を求めるものとする

支給額▶年額60万円

支給期間▶1年間（4月から翌年3月まで）

●海外看護研修助成

研修先▶メイヨークリニック（米国ミネソタ州ロチェスター）

研修期間▶2017年9月中旬から渡航日数を含めて約3週間

研修内容▶研修者の目的に応じた個別プログラムに沿った講義、実習および見学による研修

応募資格▶下記①～⑤のいずれにも該当する者

①日本在住で看護師、助産師、保健師のいずれかの資格を持っていること

②看護実務経験が5年以上あり、現在、臨床の現場に従事している者

③心身共に健康であること

④関係所属長の推薦があること

⑤TOEIC600点以上またはTOEFLの所定の点数（CBT173点以上又はIBT61点以上）を持っていること（研修には通訳は付かないので、日常会話と看護の専門分野の英語力が必要）

募集人数▶10名

助成の範囲▶研修費、宿泊費、成田空港発着の往復渡航費

【以下共通】

応募方法▶ホームページより申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、申込先へ送付のこと

募集期間▶2017年1月25日（水）まで

申込・問い合わせ先▶公益財団法人木村看護教育振興財団

〒113-0033 東京都文京区本郷5-25-14 本郷竹下ビル8階

☎ 03-5800-2700

FAX 03-5800-0022

✉ kimura-info@nurseed.jp

http://www.nurseed.jp/

日本看護倫理学会 第10回学術集会

日時▶2017年5月20日（土）・21日（日）

事前登録▶2017年4月7日（金）まで

会場▶ホルトホール大分（大分市金池南）

プログラム▶大会長講演「看護の役割拡大の礎となる倫理」小野美喜（大分県立看護科学大学）／海外招聘講演「Advanced practice nurses: Prepared to lead and support “good” practice.」Pamela J. Grace（ボストン大学）／講演I「日々の実

践に注ぐ倫理の眼」小西恵美子（鹿児島大学）／II「臨床倫理とナラティブのすすめ」金城隆展（琉球大学医学部附属病院）／シンポジウム「特定行為に係る倫理的な判断と看護実践」「患者が意思決定できないとき」／Welcome 講演「地域のニーズに応えることは未来につながる」村嶋幸代（大分県立看護科学大学）

参加費▶〈事前登録〉会員8000円、非会員9000円、〈当日〉会員9000円、非会員1万円

※学生は事前登録・当日ともに2000円

●演題募集

募集期間▶2017年1月31日（火）12:00まで

【以下共通】

申込方法▶下記ウェブサイトより

申込・問い合わせ先▶日本看護倫理学会第10回年次大会事務局

〒870-1201 大分県大分市大字廻栖野2944-9 大分県立看護科学大学看護学部成人・老年看護学研究室（広報担当：河野優子）

✉ jnea10th@gm.oita-nhs.ac.jp

http://jnea10th.umin.jp/index.html